

北朝鮮の経済動向と対外関係

ERINA調査研究部

三村光弘

北朝鮮の経済はどんな状態か

- 1990年代前半からの経済危機が終わり、1998年からは緩やかな回復基調
- 2002～05年は「実利」重視、06年以降は統制を強化
- 市場(いちば)経済はここ10年ほど拡大し、「下からの市場化」が進行中
- 2012年を目処に経済成長路線への転換を目指した準備を進行中

なぜ北朝鮮経済は苦しいのか

- いまだに残る冷戦構造と日米との対立
 - 米国による広範な経済制裁措置
- 産業設備の更新の遅れと生産の落ち込み
 - 1980年代にすでに設備更新の問題は顕在化
 - 社会主義国との貿易で立て直しを図る
 - 旧ソ連・東欧の社会主義政権崩壊と社会主義市場の喪失→未曾有の経済的困難
 - 米欧日からの技術や投資の導入の難しさ

旧ソ連・東欧の社会主義政権崩壊と 北朝鮮経済

- 東西冷戦の最前線に位置
 - 社会主義陣営から多くの支援
- 社会主義市場の喪失にともなう、経済危機
 - 旧ソ連・東欧の社会主義政権崩壊の影響
 - 95年、97年大規模な水害、96年、干ばつ
- 「苦難の行軍」(1995～2000年)
 - 未曾有の困難
 - 国家財政規模は、94年～98年に半減
 - 餓死者の発生が報じられる(96～97年)

経済改革への着手

- 未曾有の経済危機のさなか、経済改革に着手
 - 1998年9月の憲法改正が最初の大きな変化
 - 経済運営の原則→自力更生と「实际的な利益」の両建て
 - 国営企業のリストラが進行(1999年から2001年)
 - 国家財政規模も97年を底にして増加
 - 貿易総額も98年の16.6億ドルを底に、01年には26.7億ドルにまで回復

「平均主義」撤廃と貨幣経済導入

- 2001年10月、金正日「強盛大国建設の要求に合わせて社会主義経済管理を改善強化することについて」(『世界』2004年11月号参照)
 - プラスのインセンティブだけでなく、「働かざる者食うべからず」というマイナスのインセンティブの導入にも言及
 - 工場や協同農場での賃金制度における質的な指標の反映という形で現実に反映
 - 02年7月1日の賃金と価格の大規模な調整(これが経済改革のはじまりではない)へとつながる
 - 目標は賃金によって生活していく社会への移行→国家的補助の大幅削減とサービスの商品化

非国営セクターの成長と経済格差

- 2003年6月、農民市場を「総合市場」(「地域市場」に改称)に改編
 - 市場内での個人の商行為を許容
 - 需給関係による価格形成公認
 - もはや商売は「恥ずかしいこと」ではない
- 「社会主義の堅持」と建前と所得格差の黙認
 - 何千ドルもする日本製の電化製品を買える人々と日々の暮らしを立てるのに汲々としている人々が共存
 - 経済改革は、「下からの市場経済」や格差を呑み込みながら、さらに前進しようとしている

最近の北朝鮮経済の変化

- 平壤市内の住民の生活環境の向上
 - 服装
 - 食料品供給
 - 電力事情の改善
 - 家庭用燃料にガス等の使用増加
- 地方都市（開城、沙里院）における変化
 - 自転車の増加→移動の自由
 - 以前よりカラフルな服装

平壤順安国際空港のランプバス



携帯電話の基地局



「アリラン」会場



「アリラン」の一場面



畜産の振興



21世紀は情報産業の時代



自主、平和、親善



非国営セクターの成長と経済格差

- 2003年6月、農民市場を「総合市場」(「地域市場」に改称)に改編
 - 市場内での個人の商行為を許容
 - 需給関係による価格形成公認
 - もはや商売は「恥ずかしいこと」ではない
- 「社会主義の堅持」と「実利」のはざままで
 - 2005年までは改革指向
 - 2006年以降は引き締め方向

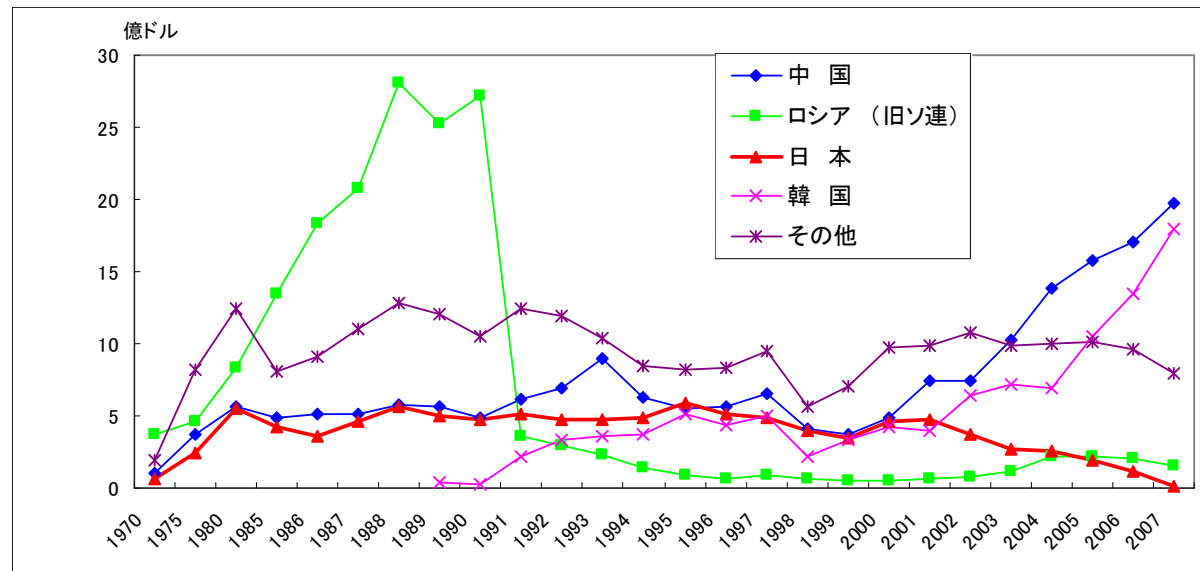
乗る人、歩く人、担ぐ人



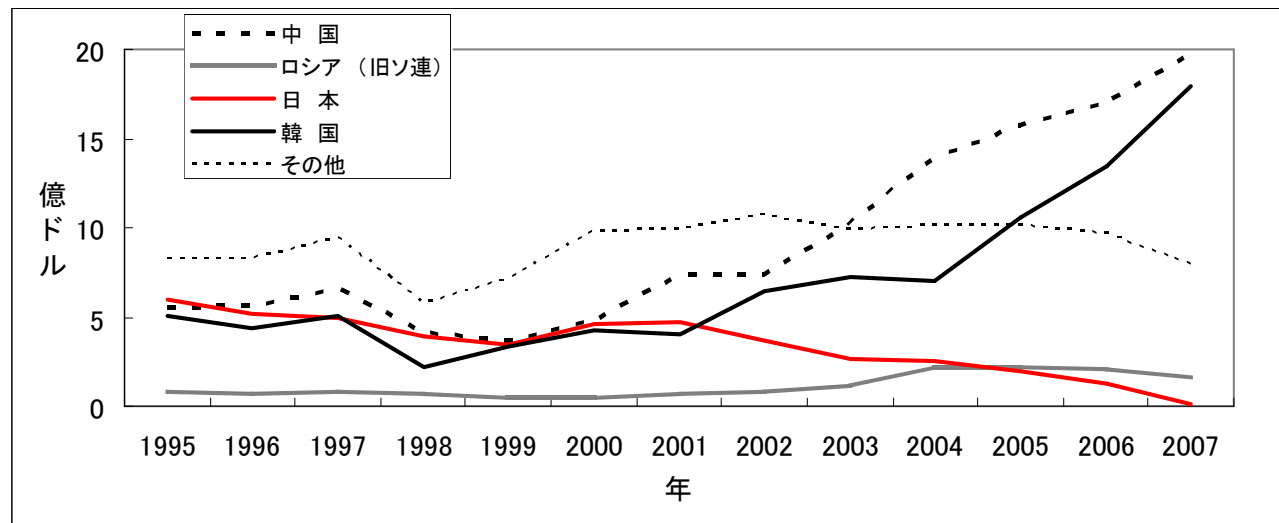
経済格差の拡大と修正への動き

- 国営工場で生産された製品の市場への出荷禁止
- 市場における商売人の年齢制限
 - 各種報道によれば50歳以上のみ許容
 - 商品経済の発達による食糧入手経路の変化
 - 国営商業網の沈滞と物価上昇
 - 20~30代女性の職場からの離脱
- 国家による食糧・日用品供給が喫緊の問題

北朝鮮の国別対外貿易総額



北朝鮮の国別対外貿易総額



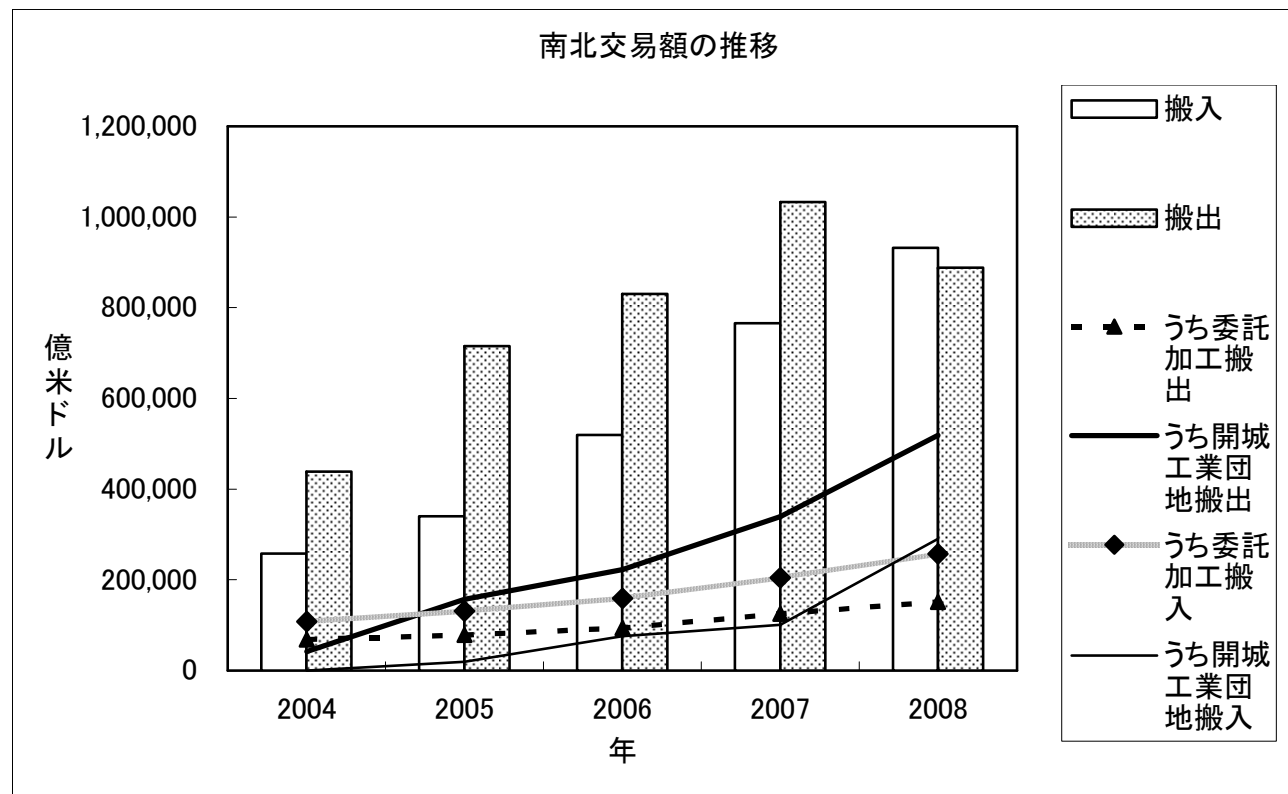
日朝貿易の推移

- 1961年から日朝貿易開始
 - 西側諸国では最高の貿易額
- 1980年代には北朝鮮の貿易シェア第3位に
- 1990年代には北朝鮮の貿易シェア第2位に
 - 2002年に韓国に抜かれる
- 2002年以降、日朝貿易は衰退の方向に

南北経済協力

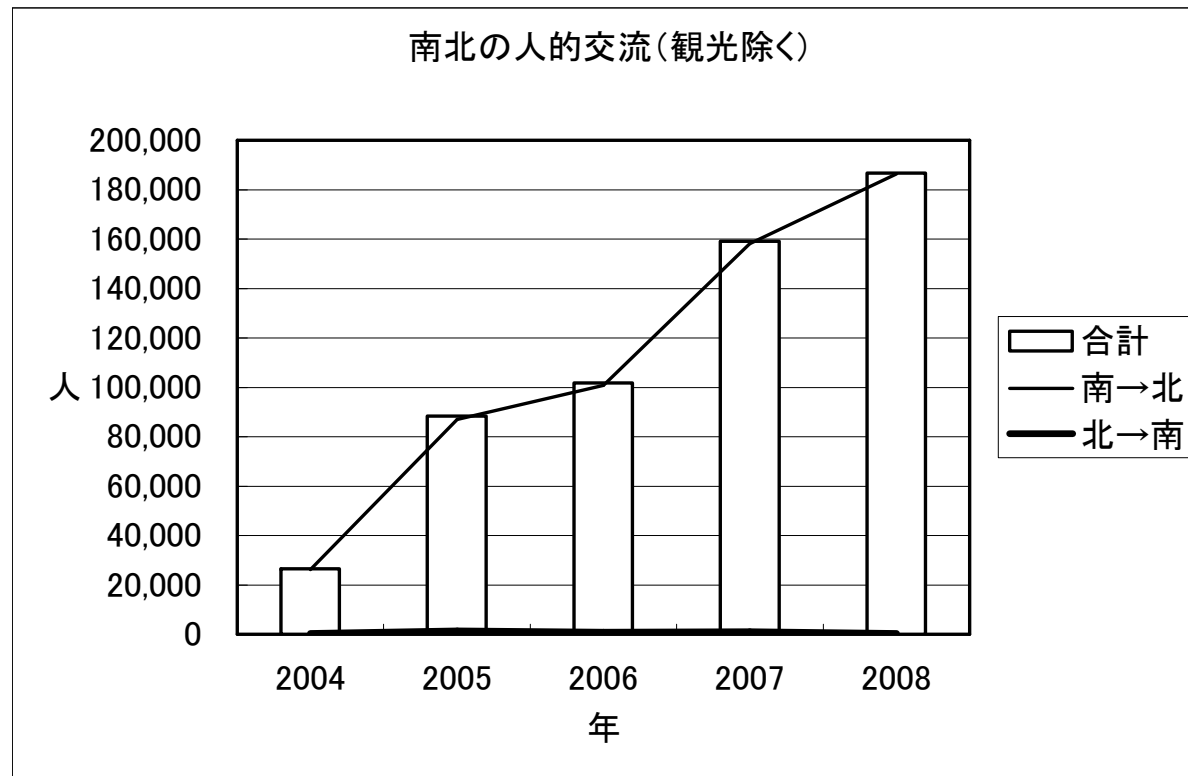
- 南北間の貿易、委託加工の増加
- 金剛山観光地区
- 開城工業地区(開城工業団地)の第1期分譲の進展
- 李明博大統領の対北政策「非核・開放・3000」と北朝鮮の反発

2008年の南北交易



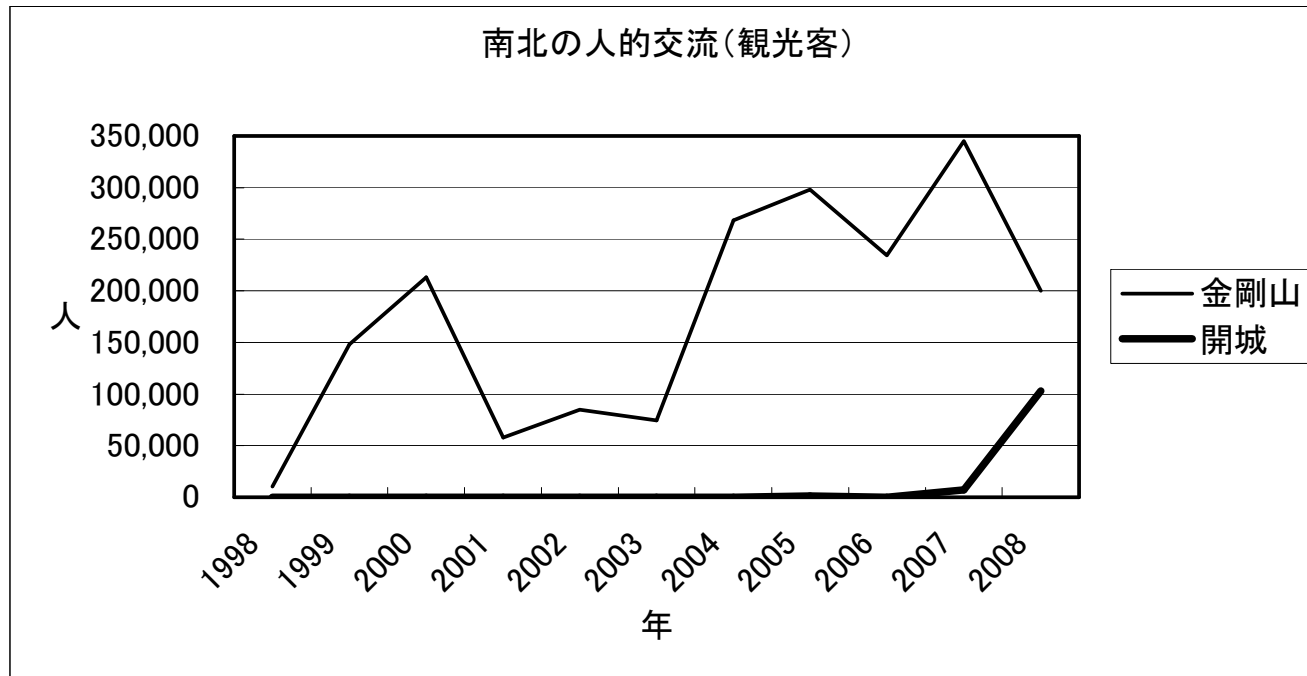
(出所) 韓国・統一省『南北交流協力動向』2008年12月号

南北間の人的交流 (観光を除く)



(出所)韓国・統一省『南北交流協力動向』2008年12月号

南→北の観光の訪問者数



(出所)韓国・統一省『南北交流協力動向』2008年12月号

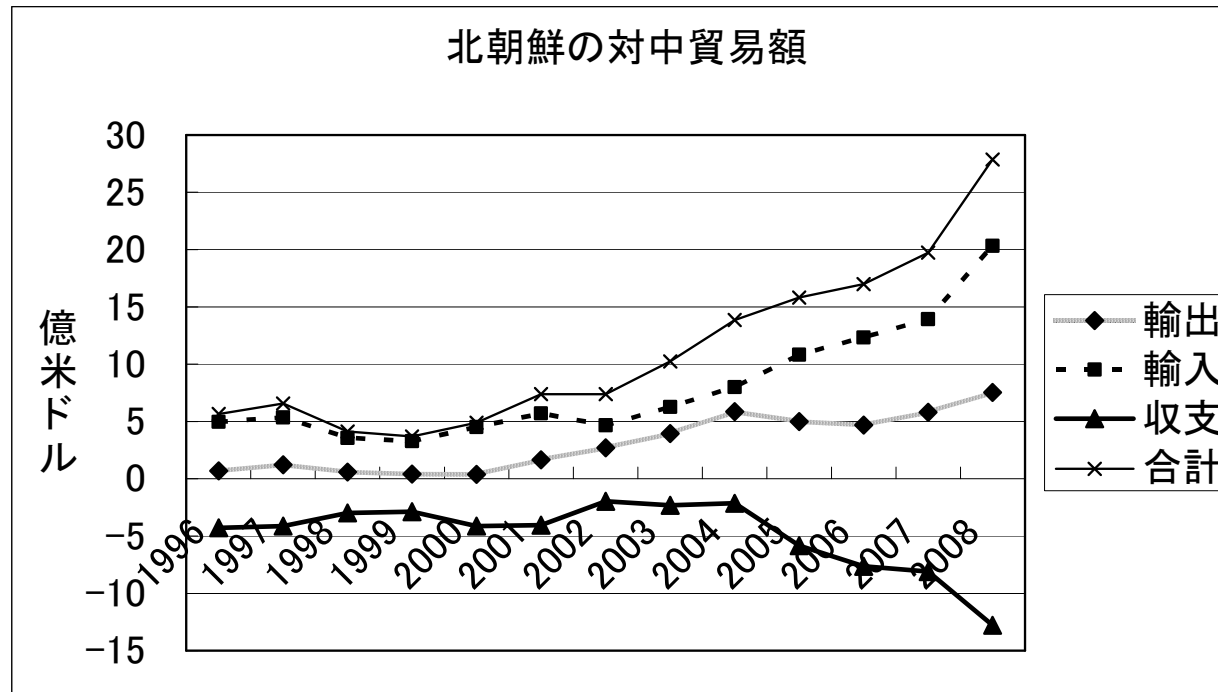
中国の対朝政策

- 中国の安定した経済発展環境の保持が重要
 - 北朝鮮の崩壊にともなう混乱を防ぐ必要
 - 北朝鮮の核は直接的な脅威ではない
 - 北東アジアの軍拡競争刺激こそ大きな脅威
- 2007年までは大型国有企業の進出は報告されていない
 - 高いカントリーリスクが投資の障害に
 - 米朝関係の進展後、大規模投資の可能性
 - それまでは政府による援助が中心か

中国の北朝鮮に対する影響力

- 政治的影響力
 - かなり低下したが、伝統的な交流の歴史と人脈は他国よりは豊富
- 経済的影響力
 - 石油や食糧等、生命線を握る物資を輸出
 - これまでの取引関係による人脈・信用
 - 近年、投資も増加傾向(ただし総額は少ない)

北朝鮮の対中貿易額



(出所) ~2006年 中国海関総署およびWorld Trade Atlas資料をKOTRA資料より再引用、2007年~ World Trade Atlas

2008年の北朝鮮の対中国輸出

(単位:千ドル、%)

HS	品目	2007年	2008年	増減率
26	鉍石、スラグ及び灰	164,006	212,691	29.7
27	鉍物性燃料及び鉍物油並びにこれらの蒸留物、歴青物質並びに鉍物性ろう	170,028	207,550	22.1
72	鉄鋼	45,188	78,448	73.6
62	衣類及び衣類附属品(メリヤス編み又はクロセ編みのものを除く。)	60,370	77,296	28.0
03	魚並びに甲殻類、軟体動物及びその他の水棲無脊椎動物	29,936	40,000	33.6
25	塩、硫黄、土石類、プラスター、石灰及びセメント	4,237	19,301	355.5
98	その他特別	9,529	19,071	100.1
76	アルミニウム及びその製品	13,638	19,028	39.5
61	衣類及び衣類附属品(メリヤス編み又はクロセ編みのものに限る。)	4,215	10,432	147.5
85	電気機器及びその部分品並びに録音機、音声再生機並びにテレビジョンの映像及び音声の記録用又は再生用の機器並びにこれらの部分品及び附属品	8,063	10,364	28.5

(出所) World Trade Atlas

2008年の北朝鮮の対中国輸入

(単位:千ドル、%)

HS	品目	2007年	2008年	増減率
27	鉱物性燃料及び鉱物油並びにこれらの蒸留物、歴青物質並びに鉱物性ろう	347,433	585,954	68.7
84	原子炉、ボイラー及び機械類並びにこれらの部分品	83,047	145,486	75.2
85	電気機器及びその部分品並びに録音機、音声再生機並びにテレビジョンの映像及び音声の記録用又は再生用の機器並びにこれらの部分品及び附属品	97,577	100,646	3.1
61	衣類及び衣類附属品(メリヤス編み又はクロセ編みのものに限る。)	23,794	86,911	265.3
39	プラスチック及びその製品	51,975	80,045	54.0
87	鉄道用及び軌道用以外の車両並びにその部分品及び附属品	27,929	67,258	140.8
54	人造繊維の長繊維並びに人造繊維の織物及びストリップその他これに類する人造繊維製品	38,639	55,016	42.4
72	鉄鋼	27,620	48,264	74.7
62	衣類及び衣類附属品(メリヤス編み又はクロセ編みのものを除く。)	4,191	46,530	1010.2
15	動物性又は植物性の油脂及びその分解生産物、調製食用脂並びに動物性又は植物性のろう	29,529	45,450	53.9

(出所)World Trade Atlas

中国の対北朝鮮投資の現状

中国の非金融セクターの対北朝鮮投資フロー

(単位: 1万米ドル)

2003	2004	2005	2006	2007
112	1,413	650	1,106	1,840

(出所)『中国商務年鑑』2008年版、215頁の表

中国の非金融セクターの対北朝鮮投資ストック

(単位: 1万米ドル)

2003	2004	2005	2006	2007
117	2,174	3,104	4,555	6,713

(出所)『中国商務年鑑』2008年版、219頁の表

北朝鮮経済改革と中朝関係

- 北朝鮮国内の経済改革、「市場化」の進行
 - これ以上の経済発展には、外部市場や外部からの投資が必要
- 中朝経済関係の深化と北朝鮮の政策
 - 一国に経済を依存することの危険性認識
 - 中国とのバランスを南北関係でとる
 - 中国との経済関係が深まるにつれてバランスの拡大が必要→日米欧との連携必至

北朝鮮の経済改革の終点はどこか

- 「強盛大国」を見る視点
 - 目標は「経済大国」か「軍事大国」か
- 2009年の経済の目標は「過去の水準突破」
- 最近の引き締め政策の意味
 - 何のための統制か
 - 重工業部門に対する投資拡大が喫緊
- 朝鮮式「社会主義市場経済」への展開
 - 日米との関係改善が必須